

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第4グループ(新城・大戸・宮内)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	中原区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 新城こども文化センター</p> <p>◎ 年間延べ利用者数 29,492人 ◎ 年間延べ利用団体数 168団体</p> <p>2 新城小学校わくわくプラザ</p> <p>◎ 登録者数 326人 ◎ 年間延べ利用者数 19,715人</p> <p>1 大戸こども文化センター</p> <p>◎ 年間延べ利用者数 35,084人 ◎ 年間延べ利用団体数 394団体</p> <p>2 大戸小学校わくわくプラザ</p> <p>◎ 登録者数 416人 ◎ 年間延べ利用者数 17,386人</p> <p>3 大谷戸小学校わくわくプラザ</p> <p>◎ 登録者数 501人 ◎ 年間延べ利用者数 26,439人</p> <p>1 宮内こども文化センター</p> <p>◎ 年間延べ利用者数 34,199人 ◎ 年間延べ利用団体数 369団体</p> <p>2 宮内小学校わくわくプラザ</p> <p>◎ 登録者数 379人 ◎ 年間延べ利用者数 19,955人</p> <p>3 中原小学校わくわくプラザ</p> <p>◎ 登録者数 328人 ◎ 年間延べ利用者数 20,062人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 146,092,754</p> <p>2 支出 人件費 127,818,466 事務費 11,421,173 事業費 9,157,463 その他 141,510 合計 148,538,612</p> <p>3 差引 -2,445,858</p>
サービス向上の取組	スケールメリットを生かし、全館行事や区行事など地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを行った。また効率的な事業執行による経費削減へ取り組み、施設修繕や遊具の調達を行うなど利用者への還元を行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 財団設立10周年記念の取り組みとして指定管理事業として「記念講演会」や記念フェスタ、わくわくプラザイメージキャラクターの作成など例年に増して事業に取り組んでいた。また区合同行事やグループ合同行事も実施し、地域の児童などの交流を図った。グループでは大戸こども文化センターの庭を活用し、野外調理を実施した。新城こども文化センターでは「きっずホップクラブ」、大戸こども文化センターでは「大戸空手クラブ」が新規のクラブ活動として立ち上がり、技術向上だけでなく子どもの仲間づくりの場となった。宮内こども文化センターでは等々力緑地で「せみのぬけがら調査」を実施するなど地域の特色を生かした事業も行われていた。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取り組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者へ還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8	
(評価の理由) 毎月のおたより発行、HPや川崎FM等を活用し、広報の充実に努めた。こども文化センター運営協議会に加え、区全体の運営協議会を年1回開催されており、地域との活発な意見交換、良好な関係作りに寄与している。わくわくプラザにおいては、特別な支援を必要とする児童への対応のため、巡回相談員による職員への巡回相談や研修などを実施した。グループ事業として区役所や新城高校、地域の子育てサロンの協力により乳幼児と高校生のおれあい交流会を実施した。宮内こども文化センターでは近隣の老人施設のお祭りに参加し高齢者と子どもの交流が図られた。障害児に配慮した連絡ノートを独自に作り丁寧な対応を心掛けた。また、わくわくプラザにおいてはこども運営会議での意見を基にこども企画行事を計画、こども達が自分の特技を見てもらい楽しませることを提案し、「新春かくし芸大会」等の実施に繋がった。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、提案どおり適正な職員配置がされていた。特別な支援を必要とする児童については、適宜スタッフを追加で配置した。市主催の研修へも多数の参加、かわさき市民活動センター全体、区、グループ、館毎の研修を計画的に企画・実施した。また、内部職員を講師にした研修を行うなどスキルの向上を図り、事業運営に反映されていた。不登校中学生への対応をきっかけに宮内中学校の生活指導の先生を講師に依頼し、中学生対応研修を実施した。個人情報の取り扱いについては、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか					
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 利用者が安全に利用できるようマニュアルを作成し施設・設備の安全点検を実施するとともに、迅速に修繕を行うなど環境整備に努めた。また、衛生管理についてもマニュアルを整備し、利用者の安心・安全に繋がった。災害時に備え、飲用水やアレルギー児にも配慮した非常食を購入し備蓄を充実させるとともに、窓ガラスへの飛散防止フィルムや遮光・防炎カーテンを設置するなど安全性を高め、防災対策の強化に努めている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験や、53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かし、合同での行事や職員研修の実施、また、経費削減を取り組み利用者の安全・安心に配慮した環境整備や防災用品の充実させるなど、利用者への還元を積極的に行い偏りのないサービスが提供できた。
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後もこども文化センター及びわくわくプラザにおいて、利用者が利用しやすい環境整備に努め、安全で安心して過ごせる施設の運営に努めるよう期待する。
---